



### 地域学校協働活動と キャリア教育の広報紙

# てなむ

学校向け

- ◆ しばやしスクールサポートボランティアセンター 【小林市社会教育課】 Tel.22-7912
- ◆ 小林市キャリア教育支援センター 【小林商工会議所】 Tel.23-4121

## 読書三到

「うちのひとまた来てく  
ださいね。(田鍋館長)」



細野小の2年生が市立図書館を見学。飾ってある額の文字について質問の時間に尋ねた児童がいました。説明では、右から「どくしょさんとう」と読み、本は「目によくて、口で朗読し、心を集中すると理解が深まる」という意味だそうです。

2クラスが交替で館内を見て回り、一人が3冊借りました。「読書離れ」の声も聞きますが、目を輝かせて本を選んでいる子どもたちからは、そんな雰囲気は感じられません。大人になるにつれて、本よりもネットに接する時間が長くなるのでしょね。



【感想より】 ◆ 探していた本を教えてくださいありがとうございました。 ◆ 恐竜シリーズの中で読んでない本を借りられて良かったです。 ◆ 好きな本が見つかってうれしかったです。 ◆ バレーボールの本を探してくれてありがとうございました。

## 野尻小 国際交流の授業

4年生



「さくらさくら」をトーン  
チャイムと合唱で披露



校歌も紹介しました。

野尻小では、国際交流支援の会の協力で、ネパールの学校との交流を続けています。7月には2つの小学校とオンラインで交流。ネパールについて調べたことを英語で発表したり歌や合奏を披露したりしました。

ネパールの子どもたちは、英語で上手に自己紹介をし、伝統芸能も披露してくれました。互いの子どもたちは珍しい映像に興味津々。時には歓声を上げて熱心に見入っていました。

4年生は、今回の授業を通して外国の生活や文化に触れると同時に、日本やふるさと小林のこを見つめ直したようでした。

## 東方小 いもほり

2年生



2年生は体育館横の「2年生活科農園」で野菜を育てています。ナスやピーマン、ミニトマトの時期が終わり、今回、さつまいもを収穫しました。子どもたちは一生懸命穴を掘り、大きないもを見つける度に大喜び。小さな畑ですので短時間で作業は終わり。それでも一輪車で2台分の収穫がありました。後日、焼きいもにするそうです。

毎年、この時期はいもほりや稲刈りを見せていただいています。学校独自の工夫や地域との連携など、活動内容に特色があって興味深いです。

## 小林中 文化発表会(総合発表)



今年度は、弁論や総合の発表、合唱コンクールを、各学年1時間ほどにまとめて午前中に実施しました(午後は新体操と吹奏楽)。保護者も都合をつけやすかったのでしょうか、平日にもかかわらず多くの参観者が訪れていました。

「総合的な学習の時間」の発表より

【1年】 農業体験学習。受入れ先の農家での体験を「農家さんおすすめのマッチの持ち方」などのクイズも交えて発表しました。

【2年】 修学旅行で訪れた京都の人や風景、名物等を参考に、小林の活性化計画をまとめました。

【3年】 3年生が企画した「KOBAFEST」(10月31日)のPRを兼ね、小林の活性化を目指すプロジェクトを紹介。小林の魅力再発見・新しいキャラクター・イメージソングなどについて説明しました。

各学年共通していたのは、食や自然の豊かさ、人々の温かさなど「小林の魅力」を伝えていたことです。2・3年生は、学級とプロジェクトごとに短い劇を取り入れた分かりやすい説明でしたし、空き家対策や観光地の整備、新商品の開発など、いろいろな提案をしていました。

活性化のアイデアが多くの人目に留まり、少しでも形になるといいですね。

裏に続きます。

## 南小まつり

毎年実施している体験活動



しおりづくり



味噌づくり



盆景



洋裁(トートバッグ)

多くの事業所・団体・地域住民の協力を得て、全校児童が12種類の活動に分かれて参加。子どもたちは3時間ほどの間、それぞれの作品と真剣に向き合っていました。他の活動は…

- ◆ 昔の遊び(めんこ・けんだま・こままわし・おりがみ)
- ◆ エコバッグづくり(STOP!おんだんかるた)
- ◆ お茶体験(お茶の種類当て・おいしいいれ方)
- ◆ フラワーアレンジメント ◆ 和裁(コースターづくり)
- ◆ 竹細工(たけとんぼ) ◆ 陶芸 ◆ 表装(化粧箱)

南小まつりは、大人との交流を通してさまざまなことが学べる貴重な機会です。また、活動には国と県の事業(技能士が支援するものづくり)や市の事業(食育)もあり、技能や食への関心を高めたいという願いも込められています。

## 三松小 ものづくり体験教室

6年生



染色(トートバッグ)



板金(銅板レリーフ)



盆景

3つの活動に分けられました。染色は型紙を使って染料で色を付け、板金は文字を叩いて浮き上がらせて表札に、盆景では草木や石などで自然の風景を表現しました。

約2時間、ものづくりマイスター(技能士)の皆さんに教えてもらいながら、子どもたちは生き生きと作業していました。完成後は友だちと笑顔で「品評会」。全員が満足した表情をしていました。

【ものづくり体験】厚生労働省の事業。子どもたちに、ものづくりの魅力を伝えるのが目的です。県の職業能力開発協会がいろいろな職種の技能士を学校に派遣します。コロナ禍以降、申込みが増えているそうです。

建設業や製造業での働き手不足や若者離れが社会的な問題になっています。南小と三松小で、子どもたちの熱心な活動を見ながら、このような取組が問題解決のきっかけになってほしいと思いました。

## 小林小 兵児踊の練習

4年生



兵児とは、鹿児島地方で青年男子のこと。

天正年間(1573年～92年)、島津・伊東の争いで、島津氏が薩摩武士の士気を鼓舞するために踊らせたのが起源と伝えられています。

また、兵児踊を通して日頃の士風の鍛錬に励んだとも言われています。

毎年、運動会で4年生が披露しています。指導は真方一区兵児踊保存会の皆さん。この日が2回目の練習で、模範演技を参考に繰り返し練習しました。徐々に、全員の動きが揃うようになり、保存会の鶴戸会長からも「ずいぶん上手になりました。運動会でもっと上手に踊れるよう、頑張ってください」と、励ましの言葉をいただきました。

## 永久津小 陽光の里訪問

3年生 7名  
4年生 11名



福祉についての学習です。輪投げなどの手作りの遊び道具に加え、カルタやオセロ、折り紙などを準備して訪問。5つのグループに分かれ、デイサービスの利用者さんたちと、約1時間、楽しく交流しました。

【児童あいさつ】勉強のお手伝いをしてくれてありがとうございました。これからも元気で過ごしてください。

## 西小林小 グループホーム訪問

4年生



和(なごみ)福祉サービスのグループホームとデイサービスセンターを訪問。26人が3つの施設に分かれ、利用者さんたちと交流しました。名前や好きなことを尋ねたり、ボウリングや輪投げを一緒に楽しんだりして過ごしました。

数日後、4年生は認知症サポーター養成講座を受講。後日、再度の訪問を予定しています。

子どもたちにとって、親や先生以外の大人との交流は社会性を育てる貴重な機会です。高齢者も、さまざまな刺激で脳が活性化し、子どもたちから元気をもらいます。利用者さんたちの笑顔が心に残っています。



地域学校協働活動と  
キャリア教育の広報紙

てなむ

学校向け

◆ こばやしスクールサポートボランティアセンター  
◆ 小林市キャリア教育支援センター

【小林市社会教育課】 TEL22-7912  
【小林商工会議所】 TEL23-4121



ユンボで魚釣り

西小林小5年生の「土木の日出前授業」のひとつです。ショベルカーの他にも、測量や剪定、ドローンの操縦、コンクリート塗りなど、7つの仕事を体験しました。子どもたちが楽しく熱心に活動している姿を見て、この日の授業が仕事や働くことへの関心を高めるきっかけになればと思いました。



※「土木」は「十・一・十・八」に分解できるので、11月18日は「土木の日」です。今回は県の事業として、小林土木事務所・建設業協会・造園組合等の協力で実施しました。

子どもたちが仕事に接する機会の一つに中学2年生の職場体験学習があります。事業所との事前打合せで、学校は活動のねらいを伝えたり、生徒への事前事後の指導を行ったりしていることでしょう。

数日前の夕方、三松中の玄関前では、職場体験から帰ってくる生徒を、先生方が名簿で確認しつつ迎えていました。「思い出に残る体験ができたならいいな」と思いながらその様子を見ていました。

幸ヶ丘小 幸っこフェスタ



ミニ畳

前半は、生駒たたみ店の大岩根さんの指導で、小物を置く敷物にもなる「ミニ畳」を家族や先生方と一緒に作りました。針を使う難しい作業は大人に手伝ってもらい、全校児童が立派な作品を完成させました。

後半は、子どもと大人のグループに分かれての話合い活動。地域の皆さんと吉藤議長を始め4名の市議会議員も加わり、幸ヶ丘の今後について話し合いました。テーマは「子どもたちのよりよい未来のために、自分は何ができるか」。幸ヶ丘や生駒高原の活性化のためのアイデアがたくさん生まれ、子どもたちは生駒高原を巡るスタンプラリーについて発表しました。

地域の活性化に役立つ子どもたちのアイデアを、いろいろな授業で見聞きます。学習発表会等で発表することもあります。アイデアの多くが広く知られることはありません。「もったいない!」といつも思っています。

幸ヶ丘小では、子どもたちの発表の後すぐに、地域おこしの団体が、「協力します」と手を挙げてくれました。

東方中 パラスポーツ交流



東方中生とこすもす支援学校中学部の生徒がチームを組み、ボッチャとフライングディスクで交流を深めました。昨年に引き続いての開催です。同じ敷地内に学校があり、普段から顔を合わせる機会も多いことから、ごく自然に、協力しながら競技を楽しんでいました。ボッチャでは、東方中生が補助器具でボールの方向や高さを調節し、フライングディスクでは支援学校の生徒と交替で審判を務めました。

終わりの会では、支援学校の森永校長先生から「いろいろな人と関わり、お互いのことを考え、一緒に楽しむ…。こんなことを、これからも生活の中で学んでください」との講評をいただきました。

永久津中 租税教室

3年生



濱田真次さん: 税理士  
(濱田真次税理士事務所)

自己紹介で、「大学卒業後、働きながら資格を取り、今は自分の税理士事務所です」と濱田さん。最初に、税金がなくなった世界を描いたアニメを通して税の役割を考えました。その後、パンフレットを用いて、一般会計当初予算、歳入と歳出、税の使われ方、税の特徴などについて詳しく学習しました。

【濱田さんより】大人になるにつれて払う税金も増えます。その使われ方を知る大人になってほしいと思います

細野中 演劇教室

劇団 民話芸術座



民話芸術座は東京都中野区に本部を置く1976年創立の劇団。小・中・高校での公演を中心に活動しています。公演前、5人の生徒が心と体の緊張をほぐす体操と腹式呼吸の発声を習い、朗読劇「銀河鉄道の夜」の一部を演じました。

【生徒の感想より】 ◆ 緊張したけど楽しかったです。◆ 緊張しましたが、練習通りできて良かったです。

裏に続きます。

## 三松中 岩戸神楽

2年生



毎年、2年生全員が舞や演奏、裏方で一役を担い、岩戸神楽保存会(田原会長)の指導で、文化発表会で披露しています。当日は、神楽の起源と継承活動、生徒の役割分担の紹介の後、天岩戸開きと剣の舞、薙刀の舞などを披露しました。会場では、岩戸神楽の学習をしている三松小の4年生も熱心に鑑賞していました。その後、1年生が農業体験学習、3年生が小林市未来予想図について発表しました。

## みんなでやってみよう

西小林中3年生、西小林小・幸ヶ丘小1年生



毎年行っている3校の交流会です。中学3年生がいろいろなゲームと賞品を準備して迎え、1年生はグループで回って中学生と一緒に楽しみました。終わった時の1年生の手には、ゲームでもらった手作りのお土産がたくさん。一列になって見送る中学生に手を振って、笑顔で帰っていきました。

## 野尻中 薬物乱用防止教室



小川智子さん(管理薬剤師:坂尾薬局)野尻小・中出身

若者の薬物乱用が増えている現状や危険性についてDVDと講話を通して理解を深めました。「約75%が大麻の危険性を認識していませんでした」との小川さんの言葉に生徒たちはびっくり。身体機能や脳への影響、依存症、脱法ドラッグによる事件や事故、オーバードーズ(医薬品の過剰摂取)の危険性、エナジードリンクやカフェイン、自分を守る方法などについてお話を聞きました。

## 紙屋小・中 鑑賞教室



出演は「かんがみぞ」、和太鼓と篠笛のユニットです。オリジナル曲の他、神楽ばやしをアレンジした曲や宮崎県の民謡などを演奏。子どもたちは、太鼓のリズムに合

わせて手拍子をしたり体を揺らしたりしながら楽しく聴いていました。途中、篠笛の種類と音色の紹介や児童・生徒とのセッションもありました。

【児童の感想とお礼】 ◆ 迫力があってすごかったです。 ◆ リズムに乗ることができました。 ◆ 演奏を聞いて音楽に興味がわきました。僕は最後の曲が良かったです。

## 栗須小 スマホ・ネット安全教室

NTTドコモのオンライン教室



2学年ずつ「安全」に関わるテーマで実施しました。

【1・2年生】 ルールやマナーを一緒に学んでいこう  
浦島太郎のアニメを観て、クイズに答えながらスマホの正しい使い方を考えました。

【3・4年生】 ①ネットやスマホの上手な活用と危険を考える  
②普段の生活で小さな危険がないかをチェックする  
③「すぐに広がる」など、ネットの特性を意識して使う

【5・6年生】 ①リスク(危険)の考え方を身につけよう  
②「自分」と「ともだち」のリスクの違いに気づこう

3年生以上は話し合い活動を通して学習を深めました。5・6年生の授業では、「人気No1」などの商品の「評価」をどう判断するかの内容もありました。

当日は人権擁護委員4名も参観して、困った時の対応や相談窓口のお話をしてくださいました。

## 野尻小 いもほり

1・2年生



5月に植えた「べにはるか」の収穫を、10月下旬に学校横の畑で行いました。協力は東麓地区営農組合とJAこばやし、保護者の皆さん。子どもたちは大きないもを見つける度に歓声を上げ、楽しく活動していました。作業の合間には大人との会話も弾み、異世代交流の貴重な機会にもなりました。収穫したいもは家庭へのお土産に持って帰りました。

さつまいもの苗植えと収穫は「食育」を目的として毎年行われています。大塚原認定こども園と野尻保育園の子どもたちも参加しました。



## 地域学校協働活動と キャリア教育の広報紙

# てなむ

学校向け

◆ こばやしスクールサポートボランティアセンター  
◆ 小林市キャリア教育支援センター

【小林市社会教育課】 TEL22-7912  
【小林商工会議所】 TEL23-4121

子どもたちによる地域貢献や地域活性化の話題をこれまでも取り上げてきました。その中には、地域の為に直接行う活動があれば、地域住民が満足感を得ることで、間接的に地域に役立ったと言えるものも少なくありません。地域学校協働活動のひとつ一つを、学校と地域それぞれの視点で見つめ直すと、成果と課題の違った側面が見えてくることでしょう。

今年度も実践記録集を発行します。小林市の今後に繋がる学校からの情報を楽しみにしています。

### 紙屋中 高妻神社の清掃活動

1・3年生



ほぜ祭りの前日、1・3年生25名と先生方が神社の清掃をしました。(2年生は職場体験学習)。境内と階段の落ち葉掃きや、拝殿と社務所の拭き掃除などを1時間ほどかけて行い、最後に全員が参拝して活動を終わりました。毎年、ほぜ祭りの前に行っています。

【生徒代表】みんなで協力してきれいになったので、ほぜ祭りが盛り上がりまして嬉しいです。

### 紙屋小 城攻め踊りの奉納

4・5・6年生



高妻神社のほぜ祭りです。子どもたちは学校から神社までの約1キロを鉦と太鼓を鳴らして歩き、神事後、踊りを奉納しました。

紙屋小の4年生以上は、保存会(手塚会長)の指導で、城攻め踊りの継承活動を行っており、運動会とほぜ祭りで披露しています。

### 三松中 花壇植栽活動

1年生



国道268号線  
沿い(ホームセンターやまさき前)

小林土木事務所と造園組合の皆さんの協力で15年続いています。1年生80名が、1時間ほどかけてパンジーとビオラ、ポピーなどを植えました。来年のゴールデンウィークまで楽しめるそうです。

【お礼の言葉】花を植える楽しさを味わいましたし、この道を通る楽しみができました。ありがとうございました。

### 非行防止教室(スマホ・ネット安全教室)

健康や安全に係わる授業は時代と共に変化し、学校や学年によって、内容にも特色があります。

#### 三松小 1年生



1・5年生ともに、お話は都城警察署少年サポートセンター少年補導職員の皆さん

万引きで警察に呼ばれたたろう君と家族の物語を通して、きまりを守ることの大切さを学びました。

#### 三松小 5年生



ゲームによる生活の乱れやメッセージのやり取りでのトラブルについて考え、対応を学びました。

#### 小林小 6年生



警察署の資料を基に先生が授業。話し合い活動とワークシートを通して、SNSを上手に使うためのポイントやトラブルの防止について学びました。

SNSに公開しても大丈夫かな?



バスケット楽しかった(^ ^)

資料の提供は、  
都城警察署

### 栗須小 緑の啓発活動(募金活動)

4年生



募金のお礼です。苗をどうぞ

コープみやざき小林店

希望の店

4年生全員が加入しているみどりの少年団の活動。募金は森林の保護などに役立てられ、ふるさとを愛し豊かな心をつくることも目的のひとつです。各グループに保護者が2、3名付き添い、百笑村と野尻庁舎でも大きな声で募金を呼びかけました。

「65年前、ボーイスカウトで募金活動をしました」と声をかけてきた方もいて、多くの人と触れ合う機会にもなりました。4年生は花壇の手入れや一人一鉢運動、森林体験なども行っています。

裏に続きます。

## 南小 モーモースクール

4年生



肩ロースとモモの見た目や味をくらべました。

JA宮崎経済連・JAこばやし・生産者による宮崎牛の授業です。DVDと説明、質問コーナーを通して、宮崎牛の出産から出荷・販売までを学ぶとともに、生産者に、仕事についてのお話を聞きました。

【お話より】 ◆ 宮崎で生まれ育ち、肉質の4等級以上を宮崎牛、3等級以下は和牛と呼びます。

◆ 育てた牛が肉になるのは悲しいですが、「命をいただく大切な仕事」だと思い、がんばっています。「良い牛ですね」と言われると嬉しいです。 ◆ 6時と午後3時に牛舎でえさをやり、午後6時に仕事を終えます。 ◆ 宮崎牛をたくさん食べて応援してください。

## 小林中 技術科 ～VR体験～

2年生



登嶋健太(としまけんた)先生:東京大学先端科学技術研究センター

テーマは「VRを活用した最先端の福祉の可能性」。VR体験に加え、その仕組みや福祉への活用事例も学びました。代表生徒によるいろいろなアプリの体験もあり、物をつかんだり卓球をしたりする映像に、生徒たちは歓声を上げて見入っていました。

登嶋先生は、介護施設で職員として勤務する傍ら、要介護者へのVR回想旅行の提供や、高齢者の福祉を拡張するXR(クロスリアリティ)の研究を行っています。

## 須木小 社会科見学「郷土をひらく」

3・4年生



説明は小林ガイドボランティア協会の皆さん



全長 31.5m 幅 3m 高さ 14m

用水路の学習です。野尻庁舎で記念碑についての話を聞いた後、東方大丸太鼓橋を見学。須木のふるさとセンター近くにある

「児玉源七郎水路開発記念碑」も見学しました。

子どもたちは、先人達の努力で今の生活があることを、熱心にメモを取りながら学んでいました。

◆ 昭和の初期、水がないために米が作れなかった野尻は貧しい農村でした。田丸貞重は野尻原用水路を、信時金之助は漆野原用水路(紙屋)を、私財を投じ、住民と協力して完成させました。

◆ 東方大丸太鼓橋は、薩摩の豪商、森山新蔵が私財を投じて完成させた県内最古の水路橋(県の有形文化財)

## 細野小 鑑賞教室「ちいさな 秋のおはなし会」



劇「しりとりのだいすきなおうさま」

大型パネル



出演は読み聞かせサークル「ママーズ」と保護者の皆さん。読み聞かせの他に、国語の教科書に載っている作品名を当てるクイズやピアノ演奏もあり、子どもたちの笑顔が絶えない1時間でした。

## 永久津小 保育士体験

5年生



永久津保育園

こすもす科「わたしは保育士・私の夢」。保育士の体験を通して、自分の将来について考える授業です。10名の5年生が3つのグループに分かれ、事前に考えた内容に沿って、約2時間、園児たちと楽しく過ご

しました。ドッジボールや縄跳び、鬼ごっこ、新聞紙を使った遊びなど、どのグループでも、子どもたちの元気な声が響いていました。

## 細野中 小林未来予想図

3年生



提案に対する改善案も出されました。

小林市の課題について、4つの班が解決策を提案し、質疑応答を通して課題に迫りました。それぞれのテーマは、空き家問題・少子高齢化・SNSの活用・ごみ問題です。宮原市長と市の職員4名も出席し、生徒たちの発表を、メモを取りながら熱心に聞いていました。市長は講評の中で、市の現状と方向性について分かりやすく説明してくださいました。

【生徒代表あいさつ】 私たちの提案が、将来の小林市に繋がっていくことを願っています。

この日は1年生の「13歳のハローワーク」も6名の講師を迎えて行われました。



地域学校協働活動と  
キャリア教育の広報紙

てなむ

学校向け

◆ こばやしスクールサポートボランティアセンター  
◆ 小林市キャリア教育支援センター

【小林市社会教育課】 TEL22-7912  
【小林商工会議所】 TEL23-4121

あけまして おめでとうございます



今年巳(み)年。蛇は古くから復活と再生の象徴や神の使いとして信仰されており、脱皮をすることから、新たな挑戦や変化を表すとも言われています。

新しい年を迎え 皆様のご健康とご多幸を お祈り申し上げます



写真のしめ縄は須木中(上)と紙屋中の生徒が作ったものです。両校では、毎年12月、地域の皆さんに教えてもらい、しめ縄を作っています。伝統を継承する活動であると共に、作業中にいろいろな話が飛び交い、世代間交流の貴重な機会にもなっています。

【須木中】協力は友愛クラブ



【紙屋中1年生】協力は紙屋校区社会福祉協議会



栗須小 みかん山スマイルフェスタ



前半は保護者も参加しての餅つき大会。全校児童で収穫したもち米を使いました。つきたてのお餅に加え、地域の皆さんが炊き出し訓練で作った芋煮もふるまわれ、みんなでおいしくいただきました。5年生は「栗須っ子米」の販売も行い、地域の方もたくさん訪れ、買い求めていました。

午後は毎年行われている地域の防災訓練。学校も含めて栗須地区のさまざまな団体が参加しました。防災のポイントは住民同士の連携だと言われます。子どもたちを含め、地域の人が顔なじみになるこのような行事は、今後ますます必要になってくることでしょう。

野尻中 餅つき

3年生



郷土の伝統行事を学ぶ家庭科の授業。もち米は地域から提供していただき、PTA 学年部の協力で実施しました。数年前まで行っていたそうで、学校には蒸し器もあることから、今年度復活したそうです。

学校支援ボランティアと聞くと、地域住民を思い浮かべますが、保護者の協力も欠かすことはできません。読み聞かせだけでなく、キャリア教育の一環として保護者が仕事の話をしている学校もあります。保護者との連携にもいろいろな形があります。

おはなし会

紙屋小「クリスマスおはなし会」



- ◆ 2年生の合唱とハンドベル演奏 ◆ 先生二人によるピアノ演奏 ◆ 絵本「まどからおくりもの」 ◆ ペープサート「十二支のはじまり」 ◆ マジック ◆ 劇「かさじぞう」 ◆ 合唱「赤鼻のトナカイ」

三松小「冬のおはなし会」



- ◆ 絵本「あのね、サンタの国ではね」 ◆ ペープサート「ふたりのあさごはん」 ◆ 読み聞かせ「困ったサンタの実例集」 ◆ 劇「桃太郎」 ◆ 合唱「赤鼻のトナカイ」

30分ほどのおはなし会。紙屋小は鑑賞教室の一環で、三松小は昼休みに行われました。両校の出演者は異なりますが、どちらもわたぐも絵本の会(三松小の保護者と保護者OBのサークル)によるものです。三松小では10年近く続いており、紙屋小では、二人の先生が三松小の保護者で読み聞かせ活動にも参加している縁で、昨年からは実施していることでした。

どちらの体育館も熱気でいっぱいの大盛り上がり。子どもたちの笑顔と歓声に、サークルの方々も熱演で応えていました。朝の読み聞かせの他にも、卒業前の6年生を対象としたものなど、いろいろなおはなし会が、主に小学校で開かれています。

裏に続きます。

## 南小 保育士体験

5年生



すべり台



オニをしたい人?



保育士の仕事を通して自分の将来について考えるこすもす科の学習です。子どもたちはグループで準備した遊び道具を持って南保育園と小林乳児保育園を訪問し、ゲームや外遊びで

園児たちと楽しく過ごしました。「もぐらたたき」(左の写真)では、かわいいモグラが箱から顔を出す度に笑い声が上がっていました。

## 野尻小 親子で学ぶ防災教室

5・6年生



町元博文さん  
NPO法人  
宮崎防災士  
ネットワーク



給水バッグ

学校保健委員会です。講師の町元さんは元兵庫県警の警察官。阪神・淡路大震災で自らも被災した中で復旧活動にも従事され、その体験もお話してくださいました。非常用トイレの作り方と凝固剤の実演もあり、災害の防止に役立つ情報が満載の教室でした。

【主な内容】①地震が起きるしくみ ②地震の規模・揺れ ③阪神・淡路大震災、能登半島地震、熊本地震の被害状況 ④直下型の大きな地震 ⑤大きな地震への対応 ⑥(児童への問いかけ)今、大きな地震が起きたらどう行動しますか? ⑦地震で家の中に閉じ込められたら ⑧台風が来るときの注意 ⑨道に水があふれた時の避難行動 ⑩非常用トイレについて

## 西小林中 駅伝ロードレース大会



総合運動公園での大会に、小林高校の男女駅伝部30名が参加。ウォーミングアップの方法を指導したり、中学生の伴走をしたりして、大会を盛り上げてくれました。

駅伝の6チームは、スタート前に肩を組み、大きな声を出して気持ちをひとつにしていました。



## 細野小 いのちの授業

4年生



外山先生・安藤先生(宮崎県動物愛護センター)

この1週間前、宮崎県動物愛護センター(清武町)で授業を受けており、参観日の今回が2回目の授業です。絵や写真を見て、野生動物や家畜、ペットの気持ちを想像し、動物へのかかわり方を学ぶとともに、動物に対して自分ができていることを考えました。

## 13歳のハローワーク

三松中



## 細野中



1年生のこすもす科。両校とも、講師はキャリア教育支援センターが依頼した様々な職種の皆さん5名。最初に自己紹介を兼ねた仕事の紹介、その後、クロストーク(出席者同士や生徒とのやりとり)を通して、働くことについての学習を深めました。質問への答より…

【三松中】◆薬学部では、薬・病気・人体・法律・数学・物理など、いろいろ学びます。◆ガーデニングの依頼は週に3・4件ほど。30万くらいの仕事もあります。◆作曲に10分分からないこともあれば、ミュージカルの曲でイメージなどの要望がある場合、1か月かかることもあります。◆人と接した後で、「こう言えばよかった」と思うことがあり、同じ反省をしないようにしています。◆やりがいを感じるのは「薬のおかげで体調が良くなった」と言われた時。在宅医療を続けるうちに、不愛想だった高齢者が話をしてくれるようになったこともありました。◆1分の動画に100時間かけることもあれば、1時間の講演会の編集が2時間で終わることもあります。

【細野中】◆仕事から逃げ出したい時は、「30年後には『面白かったよ』と言えるようになる」と思うと楽になります。◆身体が健康だとメンタルも強くなります。◆「つらい・忙しい・大変」という言葉をできるだけ使わないようにしています。◆仕事の内容よりも人とのつながりが大変な時もあります。◆100人の中で1人からでもほめられたらうれしいです。◆(一緒に仕事をしたいのは?) ポジティブな答えを返してくれる人。頼んだこと以上のことをやってくれる人。誠実な人。当たり前なのが当たり前に見える人。◆(今のうちに13歳がやっておくといいいのは?) ◆海外のニュースなど、情報をたくさん得ておくこと。性格上苦手な人と仲良くなれるよう挑戦してみる。話せる英語。◆仕事上必要なのは、あいさつ・返事・時間を守ることです。



## 地域学校協働活動と キャリア教育の広報紙

# てなむ

学校向け

◆ こばやしスクールサポートボランティアセンター  
◆ 小林市キャリア教育支援センター

【小林市社会教育課】 TEL22-7912  
【小林商工会議所】 TEL23-4121



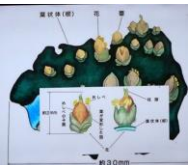
見守り隊の方から聞きました。「登校中に霜柱を見つけると、小学生は踏んでおもしろがっています。車で来たらできない体験ですね。」

車で送ってもらう子どもたちのことが、いろいろな場で話題になります。雨の日や寒さが厳しい季節はその数も増え、保護者の車で学校周辺が混雑することもあります。「子どもの安全のため」という理由もあり、解消は難しいですが、自立登校で養われる力を、粘り強く伝えていくことが望まれます。強い体力や精神力、自然の観察力、まわりの状況をとらえ、自分の力で安全に登校する力、一緒に登校する仲間とのコミュニケーション能力…。

他にもきっと、良い効果があることでしょう。

### 三松小 オオヨドカワゴロモの学習

4年生



コケのようですが、冬に花が咲き、種ができるれっきとした種子植物。世界で小林市の岩瀬川にしかない国の天然記念物です。社会教育課の井上さんから、生態と保護活動について話を聞き、特別に採取した実物を観察しました。子どもたちは石の表面についた、とても小さなオオヨドカワゴロモに顔を近づけて熱心に観察していました。

### 3年生 100年前の人びとのくらし



野尻小



細野小



野尻小の3年生は野尻歴史民俗資料館を、細野小の3年生は八幡原文化財展示室をそれぞれ見学しました。説明はどちらもガイドボランティアと社会教育課の皆さん。民俗資料館では、昭和初期の民家を再現したコーナーで、当時使われていた道具の説明を聞き、館内を見学。その後、外に出て、いろいろな道具の体験をしました。八幡原の展示室でも道具の説明があり、体験活動を行いました。

両校の児童は、古い道具に興味津々。熱心に説明を聞き、昔の人の知恵や工夫に感心していました。

【体験した道具】 かるい(背負いかご)・背負子(しょいこ)・みの斧・のこぎり・炭火アイロン・黒電話・下駄・わらじ など

### 小林小 キャリア教育交流会

5年生



若松さん(中央消防署)

職業を通して自分の未来を考えるこすもす科の授業です。5職種6名の皆さんに来ていただきました。子どもたちは15分ずつ4つのブースを回り、仕事の内容について聞き、質問をしていました。中学1年生で社会人の話を聞く「13歳のハローワーク」にも繋がる授業です。写真以外の講師は…

坂元さん(金型製造:株 MEISEI)

【保育士】井手さん(中央保育所) 外蘭さん(こばと保育園)  
【畜産業】大平落さん(前沢畜産)  
【助産師・保健師】黒木さん(小林市役所こども課)

### 西小林小 保育士体験

5年生



こすもす科「わたしは保育士・私の夢」

箱の中身当て

保育士の体験を通して自分の将来について考える授業です。31名の5年生が遊び道具やプレゼントを準備して、西小林保育園を訪問しました。

射的

園児たちは、ボウリングや魚釣り、射的など6種類のゲームを、大喜びで体験していました。

【お礼の言葉】声かけをするのが難しかったけど、保育士の仕事のことがよくわかりました。

裏に続きます。

## 給食感謝集会

1月24日からの1週間は、全国学校給食週間。それに合わせて、給食の意義や目的について考え、給食に携わる人たちに感謝する集会が小学校で、毎年開かれています。

### 須木小

何をするための道具でしょう？

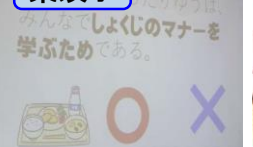


講師は齊藤先生(栄養教諭：東方学校給食センター)。クイズを交えながら給食センターの仕事や、生産者の思いを紹介してくださいました。

【お礼の言葉】学校に来ると「今日の献立」が目に入り、楽しみです。しっかり食べて元気な体をつくりま

### お礼のメッセージ

### 栗須小



【食に関するクイズ】給食委員会が問題とスライドを作りました。



集会は「えいようのうた」の元気な合唱で始まりました。先生が野尻給食センターや生産者、配送に関わる人たちの仕事や思いを紹介した後、給食委員会の5・6年生が〇×クイズを出題しました。この後、児童全員が感謝の手紙を書き、給食に関わっている皆さんに届けます。クイズの一部、すべて〇です。

- ① 給食が始まったのは、家がまずしくて弁当をもってこれられない子どもたちがたくさんいたから。
- ② カルシウム不足にならないよう、学校の給食に牛乳をつけることが学校給食法で決まっている。
- ③ 昔、ごはんはパンより高かったので、給食の主食がパンばかりだったことがある。

## 紙屋小 もくもく体験



教室から体育館へ避難した後、火事や地震、水害などの話を聞きました。講師は「御池青少年自然の家」の指導員お2人。

もくもく体験では、体に害のない煙が充満したテントを四つん這いで通り抜けました。

煙で何も見えない状況を体験して、子どもたちは火事や煙の怖さを改めて感じていました。

御池青少年自然の家では、煙体験の出前講座を無料で行っています。



## 読み聞かせ

### 東方中



坂下実千代さん(小林市小・中学校「読みきかせ」連絡協議会会長)

東方中では、読み手を囲むようにして生徒が座ります。時には、保護者ご自分の仕事について語ってくださることもあります。今回の読み手は、長年読み聞かせの活動に携わっておられる坂下さん。2つの物語をストーリーテリング(語り)で紹介してくださいました。

### 西小林中



2年生

ゆめいろ文庫の皆さんによる月に1度の読み聞かせです。この日は、3名の方が各学年で読み聞かせをしてくださいました。

小林市はすべての小中学校で読み聞かせを行っている全国的にも珍しい自治体です。小さい頃から物語に触れることで、聞く態度が養われ、中学生になっても真剣な表情で聞いています。東方中も西小林中も、子どもたちは最後まで姿勢を崩さず、熱心に耳を傾けていました。

## 細野中 薬物乱用防止教室



- ① 薬物の種類と危険性
- ② オーバードーズ(薬の過剰摂取)
- ③ 薬物依存・乱用とは
- ④ 薬物乱用に陥らないためには
- ⑤ お酒・たばこの害
- ⑥ DVD(事例でみる薬物乱用)



山元慶子さん(学校薬剤師)



青少年の薬物被害は年々深刻になっており、学校は正しい知識を得て薬物から身を守るための授業を、薬剤師や警察の担当者などと連携して行っています。山元さんは、さまざまな画像を紹介しながら、薬物やお酒、たばこの害についてお話してくださいました。

【お礼の言葉】薬物が脳を溶かしてしまうと聞いて、怖さがわかりました。薬物は絶対に使いません。

【KSSVC より】実践記録集の原稿を提出していただき、ありがとうございました。編集、製本の上、3月中には各学校へお届けします。なお、「学校支援ボランティア活動実績」が2月28日までとなっておりますので、よろしくお願ひします。





## 地域学校協働活動と キャリア教育の広報紙

# てなむ

学校向け

◆ こばやしスクールサポートボランティアセンター  
◆ 小林市キャリア教育支援センター

【小林市社会教育課】 TEL22-7912  
【小林商工会議所】 TEL23-4121

1年間のまとめの時期です。KSSVCでは各学校の協力を得て、今年度も実践記録集を作成することができました。学校コーディネーターの先生方には、お忙しい中、原稿とボランティアの実績をまとめていただき、ありがとうございます。

小林の地域学校協働活動がさらに充実するよう、各校の特色ある実践を互いに参考にさせていただけるようお願いしています。

### これからの地域学校協働活動のために



遠藤准教授

先月開かれた「協働の学校づくり」推進協議会での◇グループ協議と◆遠藤准教授(宮崎大学教育学部)のまとめより、一部を紹介します。

◇ 学校運営協議会での評価方法の見直しを。課題を重点的に評価するようにしたら。◇ 学校内にボランティアの拠点を設けると連携の在り方も変わるのでは。◇ イベント的なものではなく、教育活動の中でボランティアを活用したい。◇ コロナ禍以降中止になっている活動を再開し、地域住民が集まる機会を設けたい。◇ 地域の方が学校と関わることで得られるものがあるような活動が望まれる。◇ 児童生徒が学校で学んだことを地域の為に生かせる取組ができないだろうか。

◆ 地域の方も遠慮している面もあり、学校の敷居を低くする工夫が必要では。◆ 学校のために何かしたいと考えている人もいますので、積極的な情報の発信を。学校のことを気軽に聞ける場が必要である。◆ 地域の活動への子どもたちの参画を考えてほしい。

### 立志式・夢発表会

小・中3校の様子  
を紹介します。



三松中

【記念講演(三松中)】宮津航一さん(熊本県立大3年)。子ども食堂など、さまざまな社会貢献活動を主催するとともに大学生講演家としても活動。3歳で赤ちゃんポスト「このとりのゆりかご」に預けられた生い立ちや、養父母との生活、今の活動のことなどについてお話してくださいました。

細野中



三松中と細野中の2年生は、これまでの自分を振り返り、座右の銘とともに夢や目標を発表しました。夢や決意の内容、良く通る声、きびきびとした立振舞いなど、生徒たちの良さが心に残る立志式でした。

また、両校とも生徒による実行委員会が中心になって準備を進め、式では2年生の実行委員が立派に運営を務めていました。自立に向けた取組の一つとして、主に中学校で、子どもたちが学校行事に参画する事例が増えています。

栗須小

5年生の「夢発表会」



竹取物語や源氏物語、徒然草など、古典の群読が始まり、その後、漢字一文字に込めた夢や思いを一人ずつ発表しました。家族に向けた感謝の手紙も読み、会場で手渡しました。終わりに合唱と合奏も披露して、盛りだくさんの45分でした。

### 須木小 お菓子作り



4~6年生



須木の米粉とさつまいもを使います

クラブ活動で、いもバターとイチゴジャムが入った「お米のクレープ」を作りました。指導は、学校近くの洋菓子工房プチパリの前原さん。地元の食材を使い、地域の方に教えていただく授業には、地域学校協働活動の魅力がいっぱい詰まっていました。

### 西小林小 中学生の読み聞かせ



西小林中の1年生5名  
による読み聞かせ

1年生

中学生は、図書委員の案内で1・2年生教室へ。笑顔で聞いている小学生が微笑ましく、異年齢交流の大切さを再認識しました。西小林小では、6年生が講習を受けて読み聞かせに参加しており、中学生になって母校を訪問する活動を長年続けています。

この日は「ゆめいろ文庫」の皆さんも読み聞かせをしてくださいました。幸ヶ丘小では、卒業生の読み聞かせをオンラインで楽しみました。

裏に続きます。

## 紙屋中 台湾との国際交流



テーマは環境問題



台湾の私立  
中学校2年生

海洋汚染の問題や、学校で行っている用紙の再利用のことなどを互いに英語で発表しました。難しいテーマでしたが、紙屋中では学年ごとにプレゼンテーションをまとめ、発表しました。

台湾の中学生の流暢な英語は、紙屋中生にとって良い刺激になったことでしょうし、プレゼンテーションの手法についても学ぶことが多い交流活動でした。

## 細野小 幼保小交流会

1年生



合奏「きらきら星」



ゲーム「かもつれっしゃ」

細野保育園と認定こども園日章の年長組との交流会。1年生は歌と合奏、「おおきなかぶ」のペープサートを披露し、園児は、太鼓の演奏や「1年生で頑張りたいこと」を発表しました。

仲間づくりのゲームでは、走り回ったり輪になって自己紹介をしたり…、体育館の中は笑顔と笑い声であふれていました。

## 紙屋小 地域に花を植える活動

5年生



花壇は紙屋大橋とセブンイレブンの間にあります。



紙屋小と紙屋中は、紙屋一徳まちづくり協議会と連携して花壇の植栽活動を毎年続けており、地域の皆さんからも大変喜ばれています。(小学校は3月、中学校は7月)当日は、協議会の皆さんと、ごみ拾いしながら花壇まで歩いた後、協力して、ナデシコ、キンギョソウ、ノースポールを植えました。

## 東方小 6年生を送る会



卒業する6年生を祝うこすもす支援学校との交流会です。進行は支援学校の6年生が務めました。支援学校は色鮮やかなタペストリーをプレゼント、東方小の

6年生はきれいなハーモニーで卒業の歌を届けました。最後に、花のアーチをくぐって退場。両校の子どもたちの温かさが溢れた送る会でした。

## 東方中 地域に花を贈る活動



車まで運びます。



心を込めて育てました。  
よろしくお願いします

大事に育てたペチュニアの鉢に手紙を添えて、70数軒の高齢者宅に届けました。配達ボランティアの皆さん。毎年届く「春の便り」を楽しみにしている方々も多いことでしょう。【手紙より】(まだまだ寒い日が続きますので、お体に気を付けて、元気にお過ごしください。)

## 小林中 3年生に贈るおはなし会

「小林子ども遊学会」の皆さん



朝の読み聞かせのメンバーによるおはなし会。毎年、卒業式前に開いてくださいます。フルート演奏、紙芝居、ストーリーテリング、手話歌などで楽しく過ごした70分でした。

【生徒代表お礼の言葉】いろいろな内容で楽しませていただきました。9年間の読み聞かせ、ありがとうございました。

学校には、長く続いて伝統になっている地域学校協働活動もあることでしょう。KSSVCが保存している10年前の写真から6つを紹介します。



永久津小・中  
「合同田植え」



西小林中「郷土料理教室」



東方小「河川清掃・稚魚の放流」



西小林小「茶飲ん場(寺子屋)」



紙屋中「陶芸教室」



野尻小「棒踊り」

これからも、さまざまな協働活動が生まれ、そして、長く続いていくことを願っています。

1年間、お世話になりました。